

# 平成31年度 シラバス

教科名		保健体育	科目名	保 健	履修学年	第2学年
単位数		1単位	使用教材	現代高等保健体育・図説・ノート		
科目目標		①個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践できる能力を育成する。 ②健康や安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について課題解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付ける。 ③心身の安全や健康に関する課題解決を目指し、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断できる力を身に付ける。				
履修上の注意		①教科書を中心に副教材を使用して、授業を展開していく。 ②毎時間、保健ノートを回収し添削した後、次の時間に再度配布する。 ③視聴覚機器を活用して授業を展開していく。 ④講座に係る時事問題などをプリントし、参考資料として活用する。				
学期	時期	単元名		学習内容		
1	中間 調査まで	生涯を通じる健康 1 障害の各段階における健康 ①思春期と健康 ②性意識と性行動の選択 ③結婚生活と健康 ④妊娠・出産と健康 ⑤家族計画と人工妊娠中絶 ⑥加齢と健康 ⑦高齢者のための社会的取り組み		生涯を通じる健康 生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及びわが国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。		
	期末 調査まで	2 保健医療制度及び地域の保健・医療機関 ①保健制度とその活用		1 生涯の各段階における健康 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていること。 2 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 生涯を通じて健康の保持増進をするには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であること。 また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であること。		
2	中間 調査まで	②医療制度とその活用 ③医薬品と健康 3 様々な保健生活や対策		3 様々な保健活動や対策 わが国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や対策などが行われていること。		
	期末 調査まで	社会生活と健康 1 環境と健康 ①大気汚染と健康 ②水質汚濁・土壌汚染と健康 ③健康被害の防止と環境対策 2 環境と食品の保健 ①環境衛生活動の仕組みと働き ②食品衛生活動の仕組みと働き ③食品と環境の保健と私たち		社会生活と健康 社会生活における健康の保持増進には、環境や食品、労働などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康にかかわる活動や対策が重要であることについて理解できるようにする。 1 環境と健康 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。 2 環境と食品の保健 環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていること。		
3	学年末 調査まで	3 労働と健康 ①働くことと健康 ②労働災害と健康 ①健康的な職業生活		3 労働と健康 労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があること。		
評価方法	① 関心・意欲・態度 ( 20 ) 点		② 思考・判断 ( 20 ) 点		③ 知識・理解 ( 60 ) 点	
	・主体性 10点 ・協調性 10点		・ノート提出 20点		・定期考査 60点	

